

オレンジベスト見守り情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和5年9月10日 R5-3号

第48回 長野県青少年補導活動推進大会

うたが オレンジベスト見守り隊

～ 伸びよう 伸ばそう 青少年 ～ 報告



青少年補導・青少年健全育成の全県的な研修の機会として、日ごろの活動における諸問題や成果を持ち寄り実践を発表して、育成活動の一層の発展を目指す大会が開催されました。

主催：県青少年補導委員会連絡協議会・県青少年補導センター連絡協議会・
県子ども・若者育成支援推進本部・駒ヶ根市・駒ヶ根市教育委員会

上田市少年補導委員から、2名が

長野県青少年補導委員会連絡協議会長表彰を受賞

小山智恵子 さん (西部) 上田市少年補導委員歴 10年

宮本 美臣 さん (別所温泉) 上田市少年補導委員歴 10年

少年補導委員として長きにわたり青少年健全育成の活動に貢献されました。

おめでとうございます。そしてありがとうございました。



今年度は、7月5日(水) 駒ヶ根市立赤穂公民館を会場に県内19市の関係者が集まりました。上田市は、少年補導委員7名と少年育成センター事務局4名が研修会議に出席しました。当日の講演内容の一部を紹介します。

演題 青少年に関するネット・ゲーム依存症の治療と大人の関わり方について

講師 長野県立 こころの医療センター駒ヶ根 看護師 安田 航 氏



『依存』には「物質依存」(例 アルコール)と

「プロセス依存」(例 ギャンブル)とがある。

どちらも自己コントロールの障がいが発生する **こころ(脳)の病** で、自身で対応ができない。

特に『**ゲーム障害**』は新しい病名としてWHO(世界保健機構)

で認知されている。(『インターネット・ゲーム依存症(障害)』はアメリカ精神医学会にて認知)

依存症は「慢性疾患」で継続的な治療により改善する(完治はなく継続治療が必要)。



大人が気を付けたいこと・・・

《暖かな支援》

- ・『私は』を主語に感情表現を入れて話す。
『あなたは』が主語の会話は攻撃的に受け取られてしまう。
 - ・肯定的な(圧迫感を与えない)言い方をする。
否定的な言い方では心を閉ざされてしまう。
(進級できないよ× チャンスがあると思うよ○)
 - ・簡潔で具体的な言い方をする。
 - ・子どものモヤモヤを言語化して受け止める。
(… そうか つらかったんだね)
- 私達の委員会活動(声かけや巡視)で、とても参考になる子どもとの関わり方について、ワークショップを交えてお話しをいただきました。

長野県立 こころの医療センター駒ヶ根 には **ネット・ゲーム依存症の家族学習プログラム** があります。

朝起きられない / スマホやゲームが出来ないとイライラする / 手元がないと落ち着かない / ゲームを優先して約束を破ったことがある / ゲーム時間を減せない自分がなさげなくて落ち込む / 学校や仕事よりゲームを優先してしまう etc.

駒ヶ根市 下平 2901 電話 0265-83-4156 (9:30-17:00 月-金 祝日を除く) ホームページ→

※ **依存症で悩む家族のためのプログラム** で家族の心配が伝わるコミュニケーションを学ぶこともできます。



少年補導委員の活動紹介③ --- 地域の特性を生かした活動を展開 ---

夜間巡回 <サントミュージゼ/アリオ上田/上田城跡公園やぐら下多目的広場/駅前 周辺>

6月29日(金) 7月7日(金) 20:00-20:30

市民の文化交流拠点 サントミュージゼの施設・芝生広場～アリオ上田店周辺と、上田城跡公園やぐら下多目的広場・駅前周辺を2週にわたり夜間巡回しました。今回は、塩尻・北部・西部・城下・神科地区の皆さんに御協力をいただき、徒歩を中心とした移動巡回を、全国強調月間活動の一環として実施しました。



～アリオ上田フードコートにて～

おそろいのTシャツを着た高校生風の男子4名へ声をかけました

「こんばんは。
みんなは高校生ですか？」
・・・ 『ちがーう！』
「どこの学校へ行ってるの？」
・・・ 『トウダイ！』

「ハ～ そうなんだ(???)。
何科ですか？」

顔を見合わせ 『・・・』

「がんばってね」

大人との会話(接触)をいぶかしがる若者たちもいました。

上田警察署生活安全課の巡査様から近況の街の様子をうかがい、(文化祭の)Tシャツ姿でパフォーマンスの練習を芝生広場でする若者達に声をかけながら巡回をしました。声かけには、多くの若者が気持ちの良いあいさつを返してくれる笑顔あふれる活動となりました。

少年育成センター活動A <子どもたちの放課後の居場所訪問…「清明児童クラブ」研修>

8月2日(水) 15:00-16:30

小学校が夏休みの午後、市役所にほど近い清明小学校に隣接する「清明児童クラブ」を、会長を含む少年補導委員6名と事務局2名で訪問しました。



平日の放課後や学校休業日に「子どもたちが友達と一緒に安心して過ごせる場所」として市内に37の施設があります。



児童館・児童センター (児童健全育成事業)

・・・施設：無料

放課後児童クラブ (留守家庭対策事業)

・・・児童クラブ20施設：有料

学童保育所6施設：有料

運営職員の方から施設の案内と日ごろの子どもの様子をうかがった後、子どもたちと交流する時間をいただきました。



今回、少年補導委員会は、子どもたち全員と楽しむ

『防犯クイズ！ SOS』
どちらの場所が危ない???

の企画(プログラム)を準備して訪問しました。

小学1年生から6年生 約40名のみなさんに、2枚の絵の違いを見つけ、危険な場所の絵はどちらかを選び、その理由を発表してもらいました。



委員会では、学校と家庭の中間の居場所(施設)を積極的に訪問して、自由に過ごす子どもたち

の様子や施設の状況・環境等を知り、活動に活かす取り組みを行っています。

定期活動で学童保育所を訪問した班からは「学校のような形態でない中、(子ども社会を形成し)それぞれの子の成長を支援するご苦勞を感じました。」との感想が寄せられています。



清明小学校の旧校舎の1階部分を活用した児童クラブ訪問を終え、別れ際に子どもたちが「明日もまた来てくれる?… こんどはいつ?… クイズまたやろうね!」とオレンジベストを着る私達に笑顔で声をかけてくれたことを紹介して、活動の報告とします。

『青少年の非行・被害防止全国強調月間』を終えて～

コラム



スマートフォンやSNSを始めとする新たな機器・サービスが急速に普及し、青少年を取り巻くインターネット利用環境が一層多様化する中、SNSに起因する子どもの犯罪被害が発生しています。

また、コロナ禍による「新しい生活様式」により、子どもが自宅でネットを利用する時間が増え、不適切な受信・発信・ダウンロード等により犯罪やトラブルに巻き込まれる機会の増加が懸念されます。

少年補導委員会では、以下の3点を活動の重点に加え、研修としてお二人の講師から貴重なお話をうかがいました。

- ・インターネット利用に係る子どもの被害等の防止
- ・健全育成環境への対応
- ・重大ないじめ・問題行動の事前防止

『子どものスマホ・ゲーム利用の現状と課題』

子どもとメディア信州 運営委員 畠山 正幸 氏

『青少年に関するネット・ゲーム依存症の治療と大人の関わり方』 県立こころの医療センター駒ヶ根 安田 航 氏 (p1に掲載)

今回は、上田市少年育成センター相談電話にも寄せられている「ゲームセンター」に関わる事例を考えてみたいと思います。



「友だちとゲームセンターに行きたい！」

子どもたちにとって、魅力的・刺激的な別空間であるゲームセンターへ行きたい…と子どもから言われ、判断に迷う保護者の方は多いと思います。

判断能力・抑制力が発達途上にある子どもはゲームへの欲望をおさえられるのか、無駄遣いやお金のトラブルに巻き込まれるはしないか等心配は絶えません。



法的(風営法)には、16歳未満は18時以降のゲームセンター立ち入りに制限(保護者同伴)規定がありますが、子ども同士で日中に入店することに規制はありません。学校やPTA、業界団体で自主ルールを定めている場合もありますが、最終的には保護者の判断に委ねられています。



なかでも、大型店のゲームコーナーは、建物や個室で営業するゲームセンターに比べ心配な場所です。

子どもが保護者と一緒に来店した後、買い物の都合で単独行動となったり、ゲームコーナーと境界があいまいな待ち合わせスペースを利用したりします。また、カプセルトイ販売機は共有スペースに設置されていて立ち寄りやすく、タカリ・カツアゲなどの犯罪も発生しています。

「友だち同士で行きたい。」と言われたときに、どう対応すればよいのでしょうか？

正答や正解はありませんが、子どもたちには『危険』についてなぜ危ないか、どう危ないか説明して伝えましょう。



店内の大半の人は買い物を楽しむために来店していますが、中には悪意をもって「お金や品物を奪おう」と考えている人がいるかもしれません。

ゲーム依存から家庭のお金に手を出してしまったり祖父母におこづかいをねだったりする子どもがいます。友だち同士で、好ましくないお金の貸し借りが発生することもあります。

是非、子どもと一緒に店舗やゲームコーナーへ行き、どんなことに気をつければよいのかをその場で説明し、『約束』としてお互いに確認をしましょう。

もし、トラブルがあった場合は、子どもに寄り添い話をよく聞き、どうしてダメなのか、約束を守ることの大切さや大人の思いを丁寧に伝えてください。

そして、その後は責め続けずに、見守りと対話を心がけましょう。子どもの知識・判断力を育む保護者(大人)の対応が大切です。

こども・若者の性被害防止のための緊急啓発期間(内閣府男女共同参画局) 展開中

内閣府では、社会全体でこどもや若者への性犯罪・性暴力が断じて許されない認識を共有し、被害の相談窓口の周知、保護者が身に付ける知識、被害を認識した大人が傍観者とならないための対応等を、ホームページ・広報誌や X(Twitter)・Facebook により啓発を発信しています。

- ① 加害の抑止 (刑法改正の趣旨・内容の周知徹底)
- ② 相談窓口の周知
- ③ 性犯罪・性暴力を見逃さない社会の実現 (気付いたときの適切な対応と二次被害防止)

X(Twitter)

<https://twitter.com/danjokyoku/>

Facebook

<https://www.facebook.com/danjokyodosankaku/>

内閣府男女共同参画局ホームページ「性犯罪・性暴力とは」

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/seibouryoku/



あなたはいま安全ですか？



この計画はあくまでも目安です。
実情にあわせて、各班で計画をよろしく願います。

令和5年 10月~11月

定期街頭活動 計画

上田市少年補導委員会

日	曜	10月活動班	日	曜	11月活動班
1	日	東部A 東部B	1	水	東部A 東部B 駅前啓発活動
2	月		2	木	神川A 神川B
3	火	神川A 神川B	3	金	南部A 南部B
4	水	南部A 南部B	4	土	中央A 中央B
5	木	中央A 中央B 理事会(日程変更)	5	日	塩尻
6	金	塩尻	6	月	
7	土	北部A 北部B	7	火	北部A 北部B
8	日	西部A 西部B 西部C	8	水	西部A 西部B 西部C
9	月		9	木	城下A 城下B
10	火	城下A 城下B	10	金	神科A 神科B
11	水	神科A 神科B	11	土	豊殿 東塩田
12	木	豊殿 東塩田	12	日	中塩田A 中塩田B
13	金	中塩田A 中塩田B	13	月	
14	土	西塩田 別所温泉	14	火	西塩田 別所温泉
15	日	川辺泉田A B C 【家庭の日】	15	水	川辺泉田A B C
16	月		16	木	川西 内村
17	火	丸子中央A 丸子中央B	17	金	丸子中央A 丸子中央B
18	水	川西 内村 センター活動(丸子中央A,武石)	18	土	依田 長瀬 塩川
19	木	視察研修(諏訪)	19	日	長 傍陽 本原 【家庭の日】
20	金	依田 長瀬 塩川	20	月	
21	土	長 傍陽 本原	21	火	武石
22	日	武石	22	水	
23	月		23	木	
24	火	<p>地域見守り懇談会 各地域で開催中 地域見守り懇談会 を実施した際は、 「地域懇談会連絡票」で実施の報告を よろしく願います。 (各班の 定期街頭活動に 振り替えていただいてかまいません。)</p>	24	金	
25	水		25	土	
26	木		26	日	
27	金		27	月	
28	土		28	火	
29	日		29	水	
30	月		30	木	
31	火				

お知らせ



- おはよう! から始まる元気な1日・・・
「信州あいさつ運動」実施中
- 自分を大切にしましょう
- 困っていること、悩んでいることが有ったら 気軽に相談しよう
0268-22-8080(上田市少年育成センター相談電話)

補導委員会の活動は、
「参加・協力される方の意向を尊重し、
無理のない範囲で」計画をお願いします。

※ 諸活動の報告書(連絡票)は 活動後1週間を目途に御提出ください。

